

令和元年度防府市産業戦略本部 第2回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和元年11月19日（火）午後6時00分から
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 令和元年度事業の取組状況について
 - (2) 産業戦略に関する意見交換
- 3 その他
- 4 閉 会

■配布資料

	資料名	番号
1	防府市産業戦略本部 本部委員名簿	【資料1】
2	取組状況等資料	【資料2】

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別	所属団体・役職	名前	出欠	
本部長	防府市長	池田 豊	出席	
本部委員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	黒瀬 智彦	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	後藤 淳	欠席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	大山 弘	欠席
		東海カーボン株式会社 防府工場 研究所長 工場長	灰野 和義	代理
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	欠席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 執行役員 管理部長	末松 元成	欠席
		東山口信用金庫 本店 本店長	守田 誠	欠席
		有限会社周防タクシー 総務部長	新原 耕由	欠席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		原田株式会社 代表取締役	原田 栄造	欠席
	フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席	
	関係団体	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	出席
事務局	本部	総合政策部 部長	小野 浩誠	
		地域交流部 部長	島田 文也	
		産業振興部 部長	赤松 英明	
		土木都市建設部 部長	佐甲 裕史	
	庶務	総合政策部 部次長	藤井 隆	
		総合政策部 政策推進課 課長	杉江 純一	
		総合政策部 政策推進課 課長補佐	金子 照	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係長	大村 雅俊	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係 主任	岩田 宏美	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係 主任	宗岡 孝俊	

■会議録

1 開 会

市長挨拶

2 本部委員紹介

(事務局から出席委員の紹介)

3 令和元年度事業の取組状況について

(事務局から説明)

- ・ 中小企業サポートセンター「CONNECT22 (コネクト 22)」について
- ・ キャッシュレス決済の導入状況について
- ・ ふるさと起業家支援事業について
- ・ 観光振興、情報発信の取組について
- ・ 外国人の生活応援、多文化共生について
- ・ 産業インフラ整備、交通渋滞解消について

4 各本部委員による意見

本部長	最初に、道路について意見を伺いたい。
A委員	今年の2月に新橋牟礼線が開通したことで、周辺の渋滞がかなり緩和されたが、地域住民が新しい道に慣れるまで少し時間が必要。大変ありがたいことだが、道路の安全対策も重要。市内には危険な箇所が他にもあると思うので、対策を進めてほしい。
B委員	防府第2テクノタウン(12区画)の開発に伴い、周辺道路の更なる混雑が予想される。現在も通退勤時は大変な渋滞が発生しているので、この区間の交通の流れについて早めに検討いただきたい。特に県道54号線の早期拡幅に向けた取組を進めてほしい。
本部長	企業誘致の結果、既存企業に悪影響が出ることは好ましくない。県には対応いただいているが、引き続き、しっかりと要望していきたい。
C委員	産業インフラとしての道路整備を以前から強く要望している。台道地区(国道2号)、三田尻中関地区の道路は極めて重要。生産性向上、防災、安全、CO2削減等の様々な観点からしっかりと考えてほしい。さきほど話があった新橋牟礼線は国道2号線まで早くつながれば良いと思っている。中心市街地の道路は、少子高齢化と人口減少のなか、コンパクトシティを進めていくために極めて重要。広い道路ができることにより容積率が緩和され、マンション等の建設、資産価値が上がることによる税収増など、中心市街地の活性化、また、防災にも資するものとなるため、安心・安全なまちづくりにつながる。中心市街地を南北に繋ぐ道路の建設が早く進むことを期待している。

- 本部長 第2テクノタウン周辺の県道整備は県に、台道地区の国道拡幅は国にこれからも強く要望していきたい。中心市街地の道路整備は以前からの大きな課題で、しっかりとまちづくりをしていかなければならないと思っている。検討を進めていきたい。
- D委員 高齢者の免許返納の問題があるが、市周辺部に住んでいる方は、移動手段の確保が問題で、免許を手放すことは難しい。この問題の解決は、将来は自動運転技術などに頼ることになると思っている。今から自動運転技術の発達を見込んだ道路整備が必要ではないかと考えている。
- 本部長 新しい技術に対応していく必要があると思っている。まずは、環状線などの幹線道路の整備が必要で、そこから、生活道路にどのように接続していくかが課題と思われる。道路と自動運転技術について知見があれば教えてほしい。
- B委員 目的地まで自動運転で走行することは、現在の道路環境でもそう遠くない将来に可能になると思われる。問題は、目的地に着いてから駐車するまでで、そのための最適な道路環境については、もう少し技術の進歩をみないと判断できない状況。
- 本部長 高齢者の免許返納の問題は、大きな課題であり、公共交通機関の維持に取り組んでいる。
- 先日、バス乗客を増やす方策を検討するため小野地区でバス低廉化の実証実験をしたが、バスの運賃が安くなっても利便性が高くないと乗客は増えないことが分かった。運賃が高くても便数が増えれば乗客が増えるかもしれない。しかし、利便性向上のためバスの本数を増やそうにも、現在は人手不足で、行政が補助金を出してもバスが走らない状態。コミュニティバス、デマンドタクシーもなかなか難しい。
- E委員 観光客向けに、防府市をイメージできる芸術性のあるコミュニティバスをつくって、中心市街地の観光スポットを周遊させれば、活性化につながるのではないかと。
- 商工会議所で中心市街地の活性化を話し合うグループが3つあり、天満宮周辺エリアグループに参加している。そのなかで、道路に土地由来の名前を付けて、まちの賑わいに上手く活用できないかとのアイデアが出ている。
- 本部長 土地に由来する道路名はインパクトがある。コミュニティバスについては、黒字運営することは難しい。防府市は歩ける街と思うので、他の移動手段も含めて、まちづくり全体の中で、収支に関係なく、皆さんで考えていってほしい。
- C委員 公共交通機関は必要。駅にタクシーがないことがあり不便。収支採算の面から考えれば現実的ではないが、都会の深夜割増バスのように利便性の面から利用を促すことができないか考えていく必要がある。観光でいえば、天満宮に来た人が塩田公園と英雲荘に行きたいと思ったときに自転車での移動は難しいので、それに対し、市内の観光スポ

ットを循環する新たな交通機関をつくる等の新しい考え方をもちべきだと思う。このような新しい考え方をもちないと、全てが衰退に向かってしまう。

本部長 バスよりは高いが、タクシーよりは安い、そして夜も運行していて利便性が高い交通手段も一つのアイデアだと思う。低廉化だけではなく、逆転の発想も必要。

B委員 観光客が記念に是非乗りたいと思うようなバスであれば、検討の余地があるのではないか。風情のあるクラシックバスがあれば、記念に乗ってみようという気持ちになる。観光客に焦点を当てた、体験ができ、絶好のインスタ映えするようなバスであれば、多少値段が高くても実現の可能性があるように思うが、難しいか。

C委員 公共交通網の整備については、クラウドファンディングを活用できないかとの意見もある。皆に関心を持たせ、参画させて、資金を出させて、実績を皆に開示していく。皆が一緒になって取り組んでいく仕組みをつくらなければならない。

本部長 まちづくりは、皆さんが考え、皆さんが参加することが必要。公共交通、観光、情報発信など、まちづくり全体で考えていきたい。クラウドファンディングも、その中で、考えていくことができると思う。

続いて、中小企業支援策について伺いたい。

E委員 企業マッチングの機会が多くあれば良いと思う。別業種とのマッチングによって、新たな産業やビジネスチャンスが生まれる。CONNECT22、銀行のマッチングシステム、商工会議所の紹介など様々あるが、そのようなマッチングの機会が市内に増えてほしい。

D委員 企業マッチングで大切なのは、企業経営者が確固たる決意としっかりしたビジネスモデルをもつことだと思う。それらが無ければ、マッチングは思い出づくりだけになってしまう。

C委員 先日、県内の商工会議所と商工会と一緒に事業承継を目的にしたマッチング会を開催したが、問題解決の難しさを実感したところ。事業承継はデリケートな問題で、事業をやめるとはっきりしている経営者はいない。経営者にとって大切なのは、支援機関任せにせず、自ら考えて、動くことだと思っている。多くの出会いや広がりが必要だと思うので、市内だけでの解決は難しいのではないか。

本部長 事業承継の話がでたが、山口県は後継者がいない企業の割合が全国的にみても高い。対策案を伺えればと思う。

D委員 県内の醤油屋、味噌屋が後継者不在等を理由に次々に廃業し、20年前の半分くらいの数になってしまった。設備や製造技術が失われていく状況が辛い。醸造に新規参入が少ない理由のひとつに、収入を得るまでに最低1年の時間が必要なことが挙げられる。

廃業の危機にある蔵を存続させるために、醸造家をクラウドファンディングのような仕組みで育てることができないかと日々考えている。

本部長 続いて、市内で開催しているイベントの開催場所などについて意見を伺いたい。

A委員 『『すごいぞ！防府』秋の大イベント』は良かったと思う。天満宮から毛利邸にかけて開催されたイベントで、その間に人の流れが出来ていた。初めて屋外イベントに出店する市内飲食店が多く、こうした店の日頃の売り上げ増につながりそうな点が非常に良かった。1回目なので宣伝が行き届かないところはあったが、今後新しいイベントとして定着すれば、「愛情防府フリーマーケット」のように市外から人を呼べるイベントになるのではないかと。来年も開催してほしい。

D委員 「じばさんフェア」にずっと参加しており、高齢者が気兼ねなく参加できるという点で、全国的にみても珍しいイベントだと思っている。交通の便の良いところで開催するよりも、高齢者にターゲットを絞ったイベントとして開催してほしい。

本部長 「長州鋳物記念館」の現状を教えてください。

E委員 「長州鋳物記念館」は令和2年4月にグランドオープンする予定。市のふるさと起業家支援事業で目標金額を達成し、資金調達することができた。現在整備を進めており、年内に内装リノベーションを終える予定。鋳物をつくる体験コーナー、鋳物製の生活道具等の展示などを予定しており、外国語表記にも対応する。記念館開設により観光振興に貢献できればと考えている。引き続き見守ってほしい。

本部長 東京などへの販路拡大の状況を教えてください。

D委員 弊社は、まずは東京で販売して、その後逆輸入して地元で販売する戦略を採用してきた。現在の国内市場は広告費をあまりかけなければ飽和状態だと思っているので、今年から海外、香港や台湾への販路拡大に力を入れていきたい。東京の会社で商談することができ、以前より輸出のハードルは下がっている。

本部長 「山口県自動車産業イノベーション推進会議」について教えてください。

B委員 山口県に「山口県自動車産業イノベーション推進会議」を立ち上げてもらった。県内の先進的な技術をもつ企業の力を借りて、次世代車の技術開発を行っていく会議である。現在、会員企業は約50社。防府からも数社参加してもらっている。また、会議に並行して、やまぐちR&Dラボでチームを作って次世代車に活かせる技術開発をしてもらっている。先日、本社で開催いただいた展示説明会が大変好評で、弊社の開発チームも期待している。このような出会いの場をつくってもらえたことに感謝しているし、この活動が実りのあるものになるよう力を入れていきたい。

本部長

最後に何かあればお願いします。

A委員

経営する店で、小学4年生から6年生の子どもを対象に職業体験の機会を与えている。小さい頃の思い出や経験はずっと心に残るもので、将来の職業選択のきっかけや故郷を思う気持ちに繋がればと考えている。イベントの話があったが、そのなかで職業体験の機会があれば良い。

防府市は吹奏楽が盛ん。毎年複数の小学校・中学校が全国大会に出場し、優れた成績を残している。吹奏楽を活かしたまちづくりをしてはどうか。

本部長

本日頂いた意見は予算に反映できるものは予算に反映させ、事業実施のなかで活用できるものは活用していく。また、本日のように意見をもらえれば、国や県に要望するときに強い味方になる。来年も頑張っていきたいので、引き続きよろしくお願いします。

閉会